安全データシート（SDS）

1　化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名	K-3　(GABA 含有乳酸菌発酵肥料)

会社情報

会社名	株式会社ファーマフーズ
担当部署	品質管理・品質保証部
住所	〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原 1-49
電話番号	075-394-8605
Fax 番号	075-394-8889
電子メールアドレス	
緊急連絡電話番号	075-394-8610（営業部）

推奨用途及び使用上の制限

家庭園芸用肥料

2　危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

分類できない

環境に対する有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	該当しない

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

該当しない

3　組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

単一製品

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示整理番号	含有量（wt%）
水	7732-18-5	―	社外秘
γ-アミノ酪酸	56-12-2	―	社外秘
その他	―	―	社外秘

4　応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	速やかに大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	速やかに水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	異常が感じられたら医師の診断を受ける。

予想される急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5　火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への大量の流出は避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ウエスなどで吸い取り、空容器等に回収する。
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱注意事項	漏れ、飛散しないようにする。
接触回避	情報なし
衛生対策	情報なし

保管

技術的対策	情報なし
混触禁止物質	情報なし
保管条件	直射日光や極端な高温または低温となる場所を避ける。 子供やペットが触れないところで保管する。
容器包装材料	他の容器に移さない。

8　ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

日本産業衛生学会（2016）	特になし

設備対策

特になし

保護具

呼吸用保護具	特になし
手の保護具	必要に応じて保護手袋を着用する。
眼の保護具	必要に応じて保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9　物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	淡黄色から褐色透明、液体
臭い	特有の醗酵臭
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10　安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光や極端な高温または低温となる場所を避ける。長期間低温で保管すると、成分の結晶が生じる可能性がある。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11　有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性（経口）	情報なし

成分の有害性情報

情報なし

12　環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	自然界で分解される。
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

情報なし

13　廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14　輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない

副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15　適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律　(副産動植物質肥料)

16　その他の情報

参考文献

株式会社ファーマフーズ自社取得データ
ChemIDplus (2016)
日本産業衛生学会 (2016) 許容濃度等の勧告

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意下さい。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更する場合があります。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。